

【表紙】

【提出書類】 半期報告書の訂正報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2022年10月13日

【中間会計期間】 自 2022年1月1日 至 2022年6月30日

【会社名】 新韓銀行
(Shinhan Bank)

【代表者の役職氏名】 銀行長兼最高経営責任者 晉 玉童
(Ok Dong Jin, President and Chief Executive Officer)

【本店の所在の場所】 大韓民国ソウル特別市中区世宗大路9道20

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 島崎文彰

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区神田小川町一丁目7番地 小川町メセナビル4階
島崎法律事務所

【電話番号】 (03) 5843-9631

【事務連絡者氏名】 弁護士 島崎文彰

【連絡場所】 東京都千代田区神田小川町一丁目7番地 小川町メセナビル4階
島崎法律事務所

【電話番号】 (03) 5843-9631

【縦覧に供する場所】 該当事項なし

1 【提出理由】

2022年9月30日に提出しました半期報告書（2022年10月12日付半期報告書の訂正報告書にて訂正済）の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、本半期報告書の訂正報告書により、該当事項を以下のとおり訂正するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 事業の状況

3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

3 【訂正箇所】

訂正を要する箇所および訂正した箇所は下線で示しております。

第一部【企業情報】

第3【事業の状況】

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

<訂正前>

(前略)

平均残高ならびに金額および金利分析

(中略)

正味受取利息の変動分析-金額および金利分析

(中略)

2021年6月30日に終了した6ヶ月間から

2022年6月30日に終了した6ヶ月間

以下の変動による利息の増加(減少)

	金額	金利	増減
(単位:十億ウォン)			
受取利息の増加(減少)			
他銀行への預金	(5)	13	8
償却原価測定貸出金:			
個人向け	133	392	525
法人向け	297	335	632
公的機関およびその他貸出	(3)	10	7
他銀行への貸出	(11)	18	7
償却原価測定貸出金合計	407	764	1,171
FVTPL貸出金	-	1	1
有価証券:			
<u>FVTPL有価証券</u>	<u>2</u>	<u>45</u>	<u>47</u>
FVTOCI有価証券	75	31	106
償却原価測定有価証券	15	9	24
有価証券合計	99	31	130
受取利息合計	513	844	1,357
(中略)			

流動性および資金源

(中略)

当行は、伝統的な商業銀行であるため、その主な資金源は、これまでも、また今後も、顧客預金である。2021年12月31日現在および2022年6月30日現在の預金は、それぞれ354,938十億ウォンおよび363,345十億ウォンであり、同日現在の当行の資金調達合計のそれぞれ84.4%および83.9%に相当した。従来、限られた状況を除き、特に低金利環境および株式市場の変動性に鑑みて、主に韓国の個人および家計には代替投資機会がなかったため、かかる顧客預金のほとんどが満期時に繰り越される結果となり、当行にとって安定した資金源となっていた。しかしながら、株式市場が堅調であるなどの魅力ある代替投資機会に直面した場合、顧客はより収益の高い投資機会を求めて銀行預金の相当の金額を代替投資機会に移転する可能性があり、そのために当行にとって有利な商業上の条件で十分な資金調達手段を見い出すことが一時的に困難となる可能性がある。

(後略)

<訂正後>

(前略)

平均残高ならびに金額および金利分析

(中略)

正味受取利息の変動分析-金額および金利分析

(中略)

2021年6月30日に終了した6ヶ月間から

2022年6月30日に終了した6ヶ月間

以下の変動による利息の増加(減少)

	金額	金利	増減
(単位:十億ウォン)			

受取利息の増加(減少)

他銀行への預金	(5)	13	8
FVTPL有価証券	2	45	47

償却原価測定貸出金:

個人向け	133	392	525
法人向け	297	335	632
公的機関およびその他貸出	(3)	10	7
他銀行への貸出	(11)	18	7
償却原価測定貸出金合計	407	764	1,171

FVTPL貸出金

-	1	1
---	---	---

有価証券:

FVTOCI有価証券	75	31	106
償却原価測定有価証券	15	9	24
有価証券合計	99	31	130
受取利息合計	513	844	1,357

(中略)

流動性および資金源

(中略)

当行は、伝統的な商業銀行であるため、その主な資金源は、これまでも、また今後も、顧客預金である。2021年12月31日現在および2022年6月30日現在の預金は、それぞれ354,938十億ウォンおよび363,345十億ウォンであり、同日現在の当行の資金調達合計のそれぞれ83.8%および83.8%に相当した。従来、限られた状況を除き、特に低金利環境および株式市場の変動性に鑑みて、主に韓国の個人および家計には代替投資機会がなかったため、かかる顧客預金のほとんどが満期時に繰り越される結果となり、当行にとって安定した資金源となっていた。しかしながら、株式市場が堅調であるなどの魅力ある代替投資機会に直面した場合、顧客はより収益の高い投資機会を求めて銀行預金の相当の金額を代替投資機会に移転する可能性があり、そのために当行にとって有利な商業上の条件で十分な資金調達手段を見い出すことが一時的に困難となる可能性がある。

(後略)